

【議会報告会】

○119番映像通報システムについて初めて知ったが、この仕組みについて周知されていることが重要である。どのように周知されているのか。依頼数、実施数の差が生じている要因は何か。

⇒議員 周知はホームページなどで行っている。119番通報があった際に必要に応じて指令センターからショートメールでこのシステムの利用をお願いする仕組みになっている。現場で119番通報をしたものの場所を正確に言葉で伝えられない時や、心肺蘇生をその場で行うことが有効な場合などに消防本部と通報者が映像でやり取りをすることで情報伝達の円滑化を図っている。

依頼数、実施数の差は、依頼数のうち約2割が通報側のスマートフォンの操作などの問題でつながらなかった。そのあたりが今後の課題と執行部からも答弁があった。

⇒議員 周知も大事だが、119番通報を受けて、指令センターから映像通報システムの依頼をするためその場で利用を促すものである。実施できなかった数のうち、普段から周知をしておくことで実施できたものについて今後改善する必要がある。

○8分消防5分救急で素早く現場到着をする取り組みがあるのだから、映像通信をしている時間があればすぐに出動するべきではないか。

⇒議員 素早く現場へ到着できるように出動はしており、出動すると同時に指令センターから映像通報システムの利用ができないかの依頼をするものである。

○119番映像通報システムの使い方について、ホームページや広報での周知に加え、YouTubeを活用した動画による周知が最も効果的ではないか。予算もあまりかからず視覚的に訴えられる動画の活用が一番だと思う。

⇒議員 メディアはさまざまなものがあり、消防本部もYouTubeを用いた情報発信も行っている。そういったメディアも活用出来るとよいと考える。

○市の職員が休職と復帰を繰り返している。職場復帰フォローアップ面談は人事課の中に

窓口を設けているので、周囲の人に話が漏れる可能性があり、相談に行けないという話を聞く。その職員は百条委員会の設置を求めている。このような職員がいるので議員からも話を聞いてあげてほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○議会報告会の資料を見ると、執行部からは「やっていきたい」「検討します」との答弁が多いが、こうした答弁なら誰でも言える。市民として行政からこうした回答をもらってもやっていない、検討していないことが多い。

その後の対応を議会として確認することが重要である。議員としてしっかり追求してほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：防災について》

①降雨による災害への対策について

○南五味塚、吉崎海岸に能力の高い72ミリの排水能力があるポンプ場を作ってもらったが、町内の水路などの排水能力が不十分であり、排水ポンプの能力があっても排水ポンプまで水が流れていかずに町内が一時的に冠水してしまう現象が起きている。雨水の流路の確保についても今後検討していく必要がある。

②指定避難所について

○楠南保育園が指定避難所になっているが、取り壊しの予算が付いたと聞いている。楠地区から再利用についての嘆願書を提出したが返答がないままである。避難所を含めた活用について検討するべきである。

○公共施設の適正化により楠地区の複数の公共施設が対象となっている。多くの施設が指定避難所になっており、代替の避難所もなしに廃止になるのは安全、安心の面で不安がある。適正化と言って財政のことばかり考えるのではなく、他部局と調整してしっかりと考えてほしいと思う。

③避難所運営について

○新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの避難所運営マニュアルへの反映を行っている地区はまだ少ないことは課題であり改善していかなければならない。

避難所の運営において、感染者をスクリーニングすることが重要だが、無症状の感染者と感染していない人を分けるのが非常に困難であり、できる対策はPCR検査ぐらいであり非常に限られてしまう。避難所という空間の性質上、同じ空間にたくさんの方がいることになり感染拡大のリスクが非常に高い。特に寒い時期の豪雨対策などでは換気もできずさらにリスクが高まる。こういう場合の対策についても非常に難しいが考えていく必要がある。

④その他

○小生町の土手が崩れてブルーシートを掛けられたままになっている。地区や鉄道会社と協力して対処してほしい。